

一定の規模以上の土地の形質の変更届出書チェック表

(1) 届出書（法施行規則様式第6）
(確認事項)
☐ 必要事項が全て記載されている。
☐ 届出者の押印（法人の場合は代表者印）又は署名がある。
☐ 土地の形質変更の着手予定日の31日以上前に届出書が提出される。
(2) 土地の形質の変更をしようとする場所を明らかにした図面
☐ 地図（土地の所在地を明示したもの）
☐ 平面図（掘削・盛土の範囲、土地境界・地番を明示したもの）
☐ 断面図（掘削・盛土の範囲を明示したもの）
☐ 公図の写し
(3) 土地の所有者等が確認できる書類
☐ 土地の所有者等の一覧表
☐ 土地の登記事項証明書（発行日から3ヶ月以内のもの）又はその写し等 （登記情報提供サービスによる登記情報は照会番号はなくても可、登記事項 要約書でも可）
(4) 事前に実施した土壤汚染状況調査結果（届出に併せて提出する場合）
☐ 調査結果報告書（指定調査機関が実施したもの）
☐ 結果の提出に係る土地の所有者等の同意書
※ 調査の実施に当たっては、内容に不備のないよう、事前にご相談願います。

※令和4年7月1日から届出に係る土地の所有者等の同意書は不要になりました。

記入例

様式第六（第二十一条の二第一項、第二十三条第一項関係）

一定の規模以上の土地の形質の変更届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

山形県知事 〇 〇 〇 〇 殿

・ 法第3条1項のただし書の確認（調査の一時免除）を受けた土地は3条7項
・ それ以外は4条1項
該当しない方に取り消し線

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人
にあつては、その代表者の氏名
〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社 〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

~~第3条第7項~~
土壤汚染対策法 第4条第1項 の規定により、一定の規模以上の土地の形質の変更をする場合、

複数の筆にわたる場合は、全ての地番を記入してください。
記入しきれない場合は、別紙としてください。

次のとおり届け出ます。

土地の形質の変更の対象となる土地の所在地	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇、〇番〇、〇番〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇 (別紙1のとおり)
土地の形質の変更の場所	別紙2のとおり
土地の形質の変更の対象となる土地の面積及び当該土地の形質の変更に係る部分の深さ	〇〇〇〇. 〇 m ² 深さについては、別紙3のとおり
土地の形質の変更の着手予定日	〇年〇月〇日
法第3条第1項のただし書の確認を受けた土地において法第3条第7項の規定による土地の形質の変更をする場合	工場又は事業場の名称 工場又は事業場の敷地であつた土地の所在地
現に有害物質使用特定施設等が設置されている工場又は事業場の敷地において法第4条第1項の規定による土地の形質の変更をする場合	有害物質使用特定施設が設置されている工場又は事業場の名称
	有害物質使用特定施設の種類
	有害物質使用特定施設の設置場所
	特定有害物質の種類

変更の場所がわかるように、地図、平面図、断面図等に位置を明示してください。
掘削部分と盛土部分は、色分けしてください。

着手予定日の30日前まで（31日前）に届出を行う必要があります。

法第3条1項のただし書の確認（調査の一時免除）を受けた土地の場合に記載

有害物質使用特定施設を設置する事業場の場合に記載

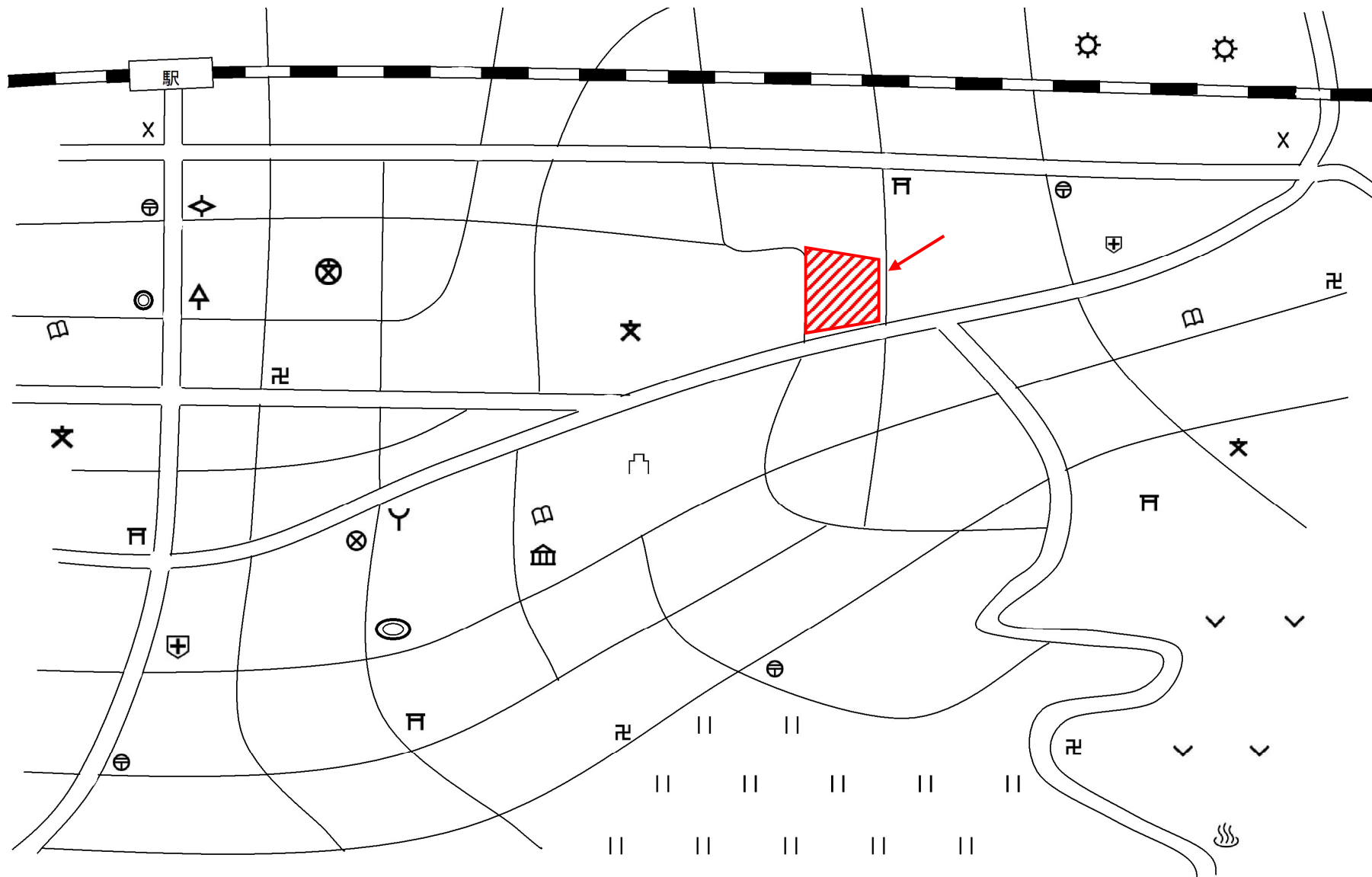
担当
担当者所属 株式会社 〇〇〇〇 〇〇課
担当者氏名 〇〇 〇〇
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
(内線 〇〇〇〇)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

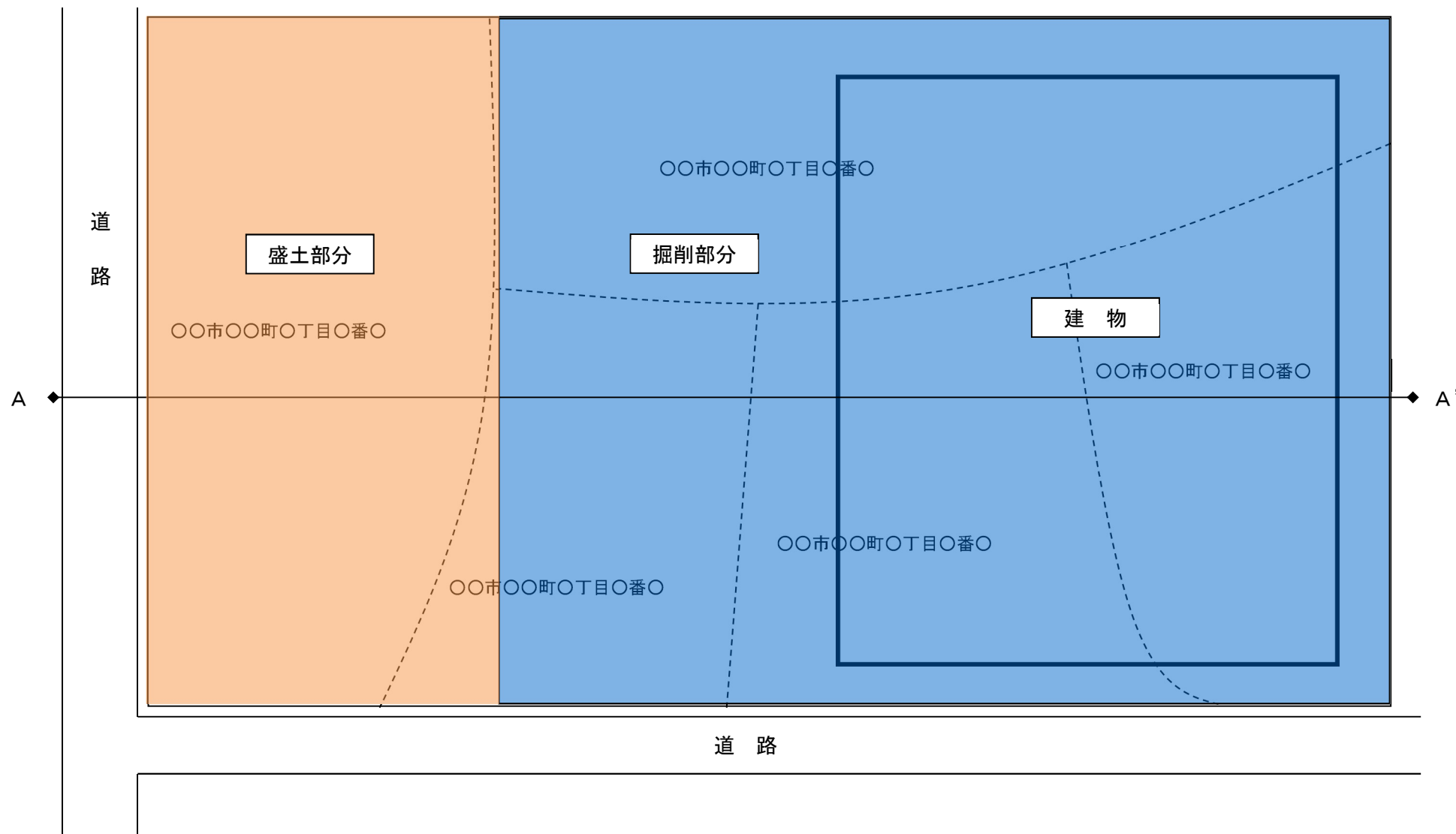
土地の所有について

[illegible]

土地の形質の変更をしようとする土地の所在地の地図



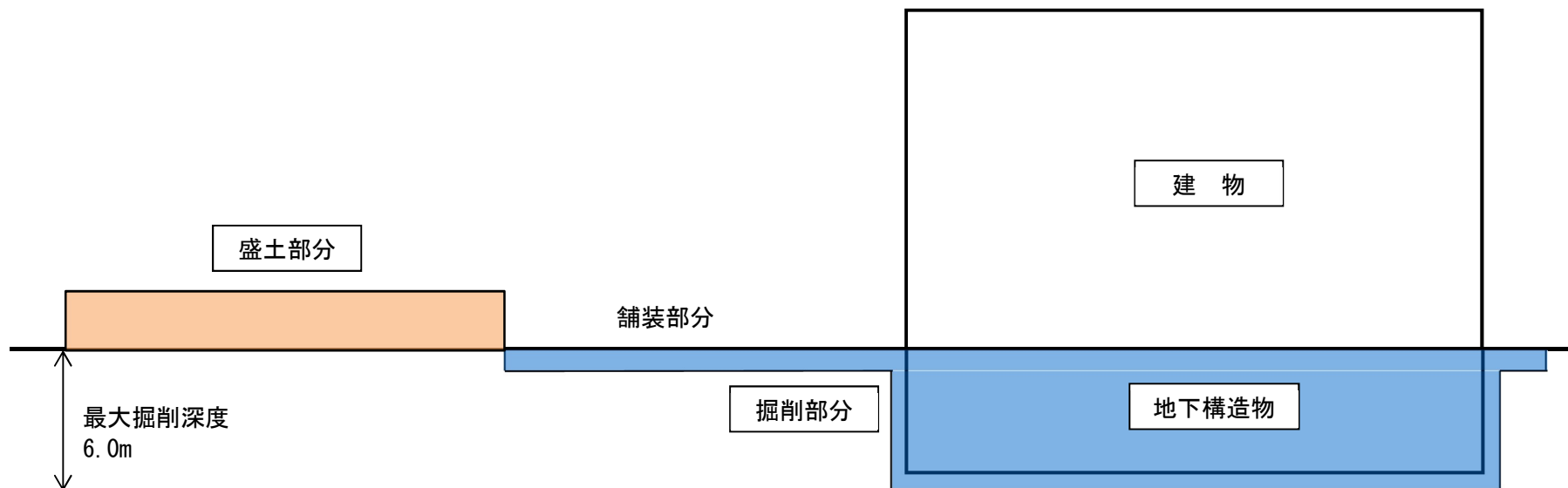
土地の形質の変更をしようとする場所を明らかにした図面（平面図）



※掘削（整地等を含みます。）後に盛土する等の場合は、掘削及び盛土のいずれも行うことがわかるように記載してください。

※構造物（杭基礎、フェンス支柱、水路等）を地下に設置・撤去する行為や、砕石を敷設・撤去する行為も掘削に該当します。

土地の形質の変更をしようとする場所を明らかにした図面（断面図）
（A－A' 断面）



※掘削（整地等を含みます。）後に盛土する等の場合は、掘削及び盛土のいずれも行うことがわかるように記載してください。

※構造物（杭基礎、フェンス支柱、水路等）を地下に設置・撤去する行為や、碎石を敷設・撤去する行為も掘削に該当します。